

今年も水稲栽培に向けた準備の時期が到来します。健全な苗作りは水稲の安定生産・収量確保に大変重要です。種子消毒を中心とした対策をしっかりと行いましょう。

播種の準備

①作業場等の清掃

いもち病菌やばか苗病菌はワラや籾殻などに潜んでいます。播種作業を行う前に、作業場や育苗ハウス内の清掃を行い、感染を防止しましょう。

②種子の準備

品種固有の特性と生産力を維持するため、水稲種子の更新は毎年行いましょう。



③塩水選

塩水選を行うことで、充実した良質の種子を選ぶことができます。塩水選後は発芽障害を防ぐため、水洗いし、塩分を取り除きましょう。

塩水の作り方(水10ℓあたり)

品種	比重	食塩(kg)	硫安(kg)
うるち	1.13	2.01	2.56
もち	1.08	1.22	1.50

※食塩または硫安のどちらかを使用します。

種子消毒

● 温湯消毒

温度と時間を正確に計測しないと効果が劣るだけでなく、発芽率も下がります。60～62℃の湯で10分間処理し、終了後は速やかに冷水で温度を下げます。安定した効果を得るために種籾1kgに対して20ℓ以上の湯量を確保しましょう。

● 薬剤防除

薬剤名：テグリードCフロアブル、希釈倍率：200倍、浸漬時間：24時間

種籾1kgに対して2ℓ以上の薬液を用意し、種籾袋の内部まで薬剤が均一に付着するように、薬液の中でよくゆすってから浸漬しましょう。

イネシンガレセンチュウ防除を行う場合は、スミチオン乳剤(希釈倍率1000倍)を混用使用しましょう。

● 微生物防除(環境こだわり農産物)

薬剤名：エコホープDJ、希釈倍率：200倍、浸漬時間：24時間

種籾1kgに対して2ℓ以上の薬液を用意し、種籾袋の内部まで薬剤が均一に付着するように、薬液の中でよくゆすってから浸漬しましょう。

温湯消毒と組み合わせる場合は、(温湯消毒)→(冷水で温度を下げる)→(微生物防除)の順に行ってください。